

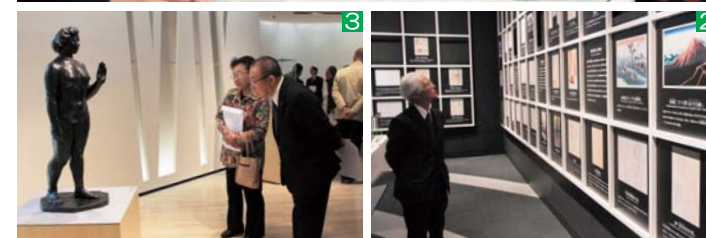


神楽を披露する矢沢保育園の子どもたち

伝承への決意を新たに

新渡戸氏ゆかりの地で競演

地域に古くから伝わる郷土芸能を紹介する特別公演「郷土芸能が語る新渡戸氏」が5月3日、花巻新渡戸記念館で開催されました。公演では安野稻荷神社神楽の皆さんによる権現舞に続き、矢沢保育園児が胡四王神楽の「神楽」、島保育園児が和太鼓「葦薈」をそれぞれ披露。園児たちは多くの観客を前に緊張の様子を見せながらも一生懸命演舞しました。青空の下、先人たちがゆかりの地で繰り広げられた競演に、訪れた皆さんから盛んな拍手が送られました。



- 1 画像が浮き出る展示に驚く児童(賢治記念館)
- 2 宮沢賢治の作品世界をパネルなどで紹介(賢治記念館)
- 3 光太郎の作品を鑑賞する来場者(光太郎記念館)
- 4 触れることのできる彫刻「手」のレプリカ(光太郎記念館)

魅力を高めた二つの記念館

宮沢賢治記念館、高村光太郎記念館
リニューアルオープン

「宮沢賢治記念館」で4月24日、「高村光太郎記念館」で同28日に、それぞれリニューアルオープン記念式典が開かれました。宮沢賢治記念館の式典には、監修者やアドバイザーなど約100人が出席。矢沢中学校の生徒2人が賢治の詩「あすこの田はねえ」を朗読したほか、「精神歌」を参加者と一緒に斉唱し、式典に花を添えました。式典終了後には内覧会が実施され、出席者は最新の研究成果と新しい展示技術が取り入れられた館内を見学。大型スクリーンに映し出される映像や賢

治の愛用品などをじっくりと鑑賞していました。高村光太郎記念館でも、関係者など約100人が出席しテープカットなどでリニューアルオープンを祝福。高村光太郎記念館の佐藤会長は「立派な記念館が完成してうれしい。光太郎先生の作品を堪能してもらえたらありがたい」と、あいさつしました。同記念館は彫刻作品をメインとした「展示室1」と詩や書などを展示する「展示室2」で光太郎の世界を紹介。展示室1には、レプリカの彫刻「手」が設けられ、来場者は実際に触れながら、造形の奥深さを楽しんでいました。

ご神体清め 子宝祈願

大沢温泉 金勢祭り

大沢金勢祭りが4月29日、湯口の大沢温泉で開かれました。同温泉金勢神社のご神体「金勢様」を洗い清め、子宝や安産、縁結びを祈願する同祭り。青空の下、神事、神楽の奉納などに続き、メインの入浴の儀が行われました。県内外の女性12人が入浴の儀に参加。露天風呂に浮かべたご神体にまたがったり、タオルでこすったりしながら湯の中をゆっくり回っていました。露天風呂の対岸には大勢の観光客が詰め掛け、ユーモラスな光景に目を細めていました。



子宝や安産を願い、ご神体を清める女性たち

晴天の花巻路を駆け抜ける

イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会

4月26日、日居城野陸上競技場を発着点に、イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会が開催されました。今回で3回目となる同大会には、県内外から前回は大幅に上回る2056人がエントリー。ゲストランナーとして女子1万1000人日本記録保持者の渋井陽子さんも出場し、大会を盛り上げました。10*の部に出場した盛岡市の篠村照子さんは「早い時間のスタートで気温がちょうど良く、気持ちよく走ることができた」と満足げの様子でした。



ゴールを目指し一斉に駆け出す選手の皆さん

花巻の伝統に触れる

児童が壁掛け傘作りを体験

花巻市博物館の体験学習「壁掛け傘作り」が5月3日、同博物館で開かれました。参加した児童と保護者など合わせて10人が滝田工芸の花巻傘職人滝田信夫さんの指導により、伝統技術を応用した作品作りを体験。無地や柄の入った直径30センチほどの和紙を、24本の骨組みに貼り付け、自分だけの壁掛け傘を完成させました。参加した伊藤咲菫さん(南城小4年)は「難しかったけど楽しかった。無地の和紙を選んだので絵を描きたい」と喜んでいました。



真剣な表情で和紙に折り目を付ける児童